外注化阻止ニュース　第２８４号
〔発行日〕２０１６年１０月１２日
〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://www.geocities.jp/dorosien28
ＪＲの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

# 検修職場で何が起きているのか

## 動労千葉定期大会での発言　新保全体系の弊害が表面化

検修職場で何が起きているのか。国鉄分割・民営化後、さまざまな職種が外注化され、検修職場や車両工場の業務も外注化されている。13年前の「メンテナンス近代化（第３期）計画」で検査体系が変わった弊害が出てきている（新保全体系）。動労千葉の定期大会（９月25～26日）での組合員の発言を紹介します。

### バラして点検がされてない

２０９系、２１７系のパンタグラフをあげる主バネが折れている事象が結構ある。現在、一斉交換中で、幕張車輌センターでは、２０９系は９割以上が終了している。

鉄道総研に原因究明を依頼し、腐食が原因の一つと判明した。つまり工場でちゃんとバラシて点検し、疑わしいものはその場で取り替えれば済む問題だった。しかし新保全体系でずっとやっていない。

### 多発するドアの開閉不良

２０９系２０００番台の客室の乗降用のドアは、ステンレスの板が合わさった構造だが（ハニカム構造）、それが剥がれ開閉不良が発生している。配線を束ねるコネクターピンが緑青を吹き錆びている。配線を触ると火花が出るほどひどい状態で、導通不良でドアの開閉不良。これも数件発生し、これも一斉に処置している。

全車種全編成のパンタグラフにある避雷器（アレスター）の動作開始電圧測定は本来、避雷器動作の電圧の測定は工場でやらなければいけない。それを工場でやらず現場に押し付けている。測定器もないのでメーカーから借りてやっている状況だ。

### 台車の空気バネのガタツキ

木更津のＤＣ（ディーゼル機関車）は郡山工場からの出場車だが、台車空気バネの高さ調整弁のガタツキが４か所中３か所で発見された。

この間、排障器の脱落事故などがあり、取付ボルトの緩みを発見する「合いマーク」を付けるようになっているが、それもあいまい。本来１本のところ２本、３本と書いてあって、どれが合いマークだか分からない状態だった。

幕張車輌センターにある４８５系のお座敷電車も郡山工場です。この間、ユニット不動の故障が何回か出て、郡山工場から来てもらったが、結局わからない。大宮工場に依頼して来てもらったら一発で治った。

若い人から聞いたが、関係者の間では〈郡山工場はヤバい〉と囁かれている。工場でどのようなことが起きているのか？　検修技術そのものが低下してしまっているのか、ベテラン技術員が退職の影響なのか、何よりも工場で進む外注化の影響なのかということです。